

## 生活者アンケート等に関する構成員からのご意見

- 本資料は、前回ご提示した生活者アンケートに含まれない構成員向けの項目についてのアンケート結果、生活者アンケートの結果に対する構成員のご意見等を取りまとめたもの。
- 結果は、資料1に反映させるとともに、P 12以降を中心に資料3「中間取りまとめ骨子素案」にも一部反映

|      |   |
|------|---|
| 概要   | 構成員向け優先テーマ（生活者向けアンケート調査では対象外としたテーマ）について評価を頂く<br>生活者アンケート結果に対する評価、コメントを頂く<br>その他御意見を頂く |
| 実施期間 | 2004年4月   |
| 回答者  | 19名の構成員より回答を頂く  |

### 構成員向け優先テーマに関する評価結果

(1)優先テーマ別「非常に重要」の回答率

| 優先テーマ                    |       |
|--------------------------|-------|
| 国際競争力の強化                 | 73.7% |
| 医療機関や介護施設の経営効率と利用サービスの向上 | 68.4% |
| 物流システムの効率化               | 63.2% |
| 国土安全保障問題への対応             | 57.9% |
| 地方の自立・活性化                | 42.1% |
| 既存産業の高度化                 | 36.8% |
| ホワイトカラーの生産性向上            | 26.3% |

(2)社会として取り組むべき課題として「非常に重要」の回答率

| 医療機関や介護施設の経営効率と利用サービスの向上           |       |
|------------------------------------|-------|
| 救急医療体制の充実                          | 73.7% |
| 注射や予薬業務等における医療過誤対策                 | 68.4% |
| 遠隔病理診断や遠隔放射線画像診断等による遠隔地医療の推進       | 63.2% |
| 診療記録、医用画像の保管と活用（病診連携、病病連携等）        | 57.9% |
| 医療行為の進捗管理や品質管理、医療コスト分析による経営効率化     | 52.6% |
| インフォームドコンセントと診療情報の提供（多様な医療ニーズへの対応） | 47.4% |
| 医療材料物流の円滑化                         | 10.5% |

| 物流システムの効率化                                   |       |
|--|-------|
| 規制緩和や行政手続きの電子化・迅速化（ペーパーレス申請等）                | 68.4% |
| 環境問題への対応（地域社会との調和、循環型社会の構築）                  | 63.2% |
| トータルコストの削減やリードタイムの短縮、時間精度の向上                 | 52.6% |
| 輸出入や港湾手続きに関する手続きの簡素化、窓口の24時間化・統一化（国際物流の効率化）  | 47.4% |
| 投資の重点化・効率化による港湾、空港、道路等の物流関連公共インフラの整備の最適化     | 42.1% |
| 多頻度少量輸送ニーズやドアツードアの複合一貫輸送ニーズへの対応（荷主ニーズの多様化対応） | 31.6% |
| 中小企業における物流の集約化・協業化への対応（人手、資金、施設不足）           | 21.1% |
| 保管等を含めた総合的な物流サービスの提供                         | 21.1% |

| ホワイトカラーの生産性向上                  |       |
|--------------------------------|-------|
| 知識ワーカーの創造物の蓄積・共有化促進支援          | 52.6% |
| 知識ワーカー同士の協業支援                  | 36.8% |
| 業務支援環境の充実（定型的な作業の軽減、IT環境の整備 等） | 26.3% |
| 快適なオフィス空間の実現                   | 21.1% |
| サービス残業の解消                      | 15.8% |

| 国土安全保障問題への対応                            |       |
|---|-------|
| テロ・凶悪犯罪対策                               | 68.4% |
| 安定的な水・エネルギーの供給確保                        | 68.4% |
| 安定的な食糧の供給（食糧自給率の向上）                     | 63.2% |
| ウイルスや感染症等への対策（SARS、O157、鳥インフルエンザ、花粉症 等） | 63.2% |
| 出入国管理の強化                                | 36.8% |

| 既存産業の高度化                                |       |
|---|-------|
| 積極的な研究開発投資と新規分野の開拓                      | 68.4% |
| 次世代を担う若手経営者や専門技術者等人材の育成                 | 63.2% |
| 効率的な商業システムの構築（ネット販売、商品のタグ管理、ポイントシステム 等） | 42.1% |
| 生産性向上や管理負担の軽減、効率化                       | 31.6% |

| 国際競争力の強化                  |       |
|---------------------------|-------|
| 市場メカニズムの強化（商取引、金融・資本、雇用等） | 68.4% |
| 労働力移動の自由化                 | 42.1% |
| 取引システム・制度の国際標準化           | 36.8% |
| 電子マネーによる流通・決済の高度化         | 36.8% |

| 地方の自立・活性化                            |       |
|--------------------------------------|-------|
| 行政事務手続きの効率化（複数の地方公共団体による共同アウトソーシング等） | 52.6% |
| 社会保険や公的年金制度等の充実                      | 52.6% |
| 地方分権の推進                              | 47.4% |
| 地域人材の育成                              | 47.4% |
| 行政サービスの民間開放                          | 42.1% |
| 地場産業の活性化                             | 36.8% |
| パブリックインボルブメント等、住民参加型手法の採用            | 36.8% |

(3)ユビキタスネット社会で解決が期待される課題として「非常に期待」の回答率

| 医療機関や介護施設の経営効率と利用サービスの向上           |       |
|------------------------------------|-------|
| 診療記録、医用画像の保管と活用（病診連携、病病連携等）        | 78.9% |
| 遠隔病理診断や遠隔放射線画像診断等による遠隔地医療の推進       | 63.2% |
| 救急医療体制の充実                          | 63.2% |
| 医療行為の進捗管理や品質管理、医療コスト分析による経営効率化     | 47.4% |
| 注射や予薬業務等における医療過誤対策                 | 31.6% |
| インフォームドコンセントと診療情報の提供（多様な医療ニーズへの対応） | 31.6% |
| 医療材料物流の円滑化                         | 21.1% |

| 物流システムの効率化                                   |       |
|--|-------|
| 規制緩和や行政手続きの電子化・迅速化（ペーパーレス申請等） 国内物流           | 68.4% |
| トータルコストの削減やリードタイムの短縮、時間精度の向上                 | 63.2% |
| 多頻度少量輸送ニーズやドアツードアの複合一貫輸送ニーズへの対応（荷主ニーズの多様化対応） | 47.4% |
| 輸出入や港湾手続きに関する手続きの簡素化、窓口の24時間化・統一化（国際物流の効率化）  | 47.4% |
| 中小企業における物流の集約化・協業化への対応（人手、資金、施設不足）           | 26.3% |
| 保管等を含めた総合的な物流サービスの提供                         | 26.3% |
| 環境問題への対応（地域社会との調和、循環型社会の構築）                  | 21.1% |
| 投資の重点化・効率化による港湾、空港、道路等の物流関連公共インフラの整備の最適化     | 21.1% |

| ホワイトカラーの生産性向上                  |       |
|--------------------------------|-------|
| 知識ワーカの創造物の蓄積・共有化促進支援           | 57.9% |
| 知識ワーカ同士の協業支援                   | 52.6% |
| 業務支援環境の充実（定型的な作業の軽減、IT環境の整備 等） | 36.8% |
| 快適なオフィス空間の実現                   | 15.8% |
| サービス残業の解消                      | 15.8% |

| 国土安全保障問題への対応                            |       |
|---|-------|
| 出入国管理の強化                                | 52.6% |
| テロ・凶悪犯罪対策                               | 26.3% |
| ウイルスや感染症等への対策（SARS、O157、鳥インフルエンザ、花粉症 等） | 26.3% |
| 安定的な水・エネルギーの供給確保                        | 15.8% |
| 安定的な食糧の供給（食糧自給率の向上）                     | 5.3%  |

| 既存産業の高度化                                |       |
|---|-------|
| 効率的な商業システムの構築（ネット販売、商品のタグ管理、ポイントシステム 等） | 68.4% |
| 積極的な研究開発投資と新規分野の開拓                      | 47.4% |
| 生産性向上や管理負担の軽減、効率化                       | 36.8% |
| 次世代を担う若手経営者や専門技術者等人材の育成                 | 5.3%  |

| 国際競争力の強化                  |       |
|---------------------------|-------|
| 電子マネーによる流通・決済の高度化         | 52.6% |
| 市場メカニズムの強化（商取引、金融・資本、雇用等） | 42.1% |
| 取引システム・制度の国際標準化           | 36.8% |
| 労働力移動の自由化                 | 5.3%  |

| 地方の自立・活性化                            |       |
|--------------------------------------|-------|
| 行政事務手続きの効率化（複数の地方公共団体による共同アウトソーシング等） | 63.2% |
| パブリックインボルブメント等、住民参加型手法の採用            | 36.8% |
| 地場産業の活性化                             | 26.3% |
| 行政サービスの民間開放                          | 26.3% |
| 地域人材の育成                              | 15.8% |
| 地方分権の推進                              | 5.3%  |
| 社会保険や公的年金制度等の充実                      | 0.0%  |

## 生活者向けアンケート結果に対する御意見

|       | A. 生活者の回答は重要テーマ・重要課題だが、<br>ユビキタスネット社会による <u>解決が適切</u><br>とは思われないもの  | B. 生活者の回答は重要テーマ・重要課題ではないが、<br>ユビキタスネット社会による <u>解決を考え</u><br><u>ておくべきもの</u>  | C. その他  |
|-------|---|---|---|
| A 構成員 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>多様なコミュニティ活動の実現</li> <li>持続可能、安全な都市交通システムの形成</li> <li>大学及び大学院等の高度化</li> <li>生涯学習の普及</li> <li>就業形態や勤務形態の多様化</li> <li>新たな産業の育成</li> <li>国際化の推進</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>「多様なコミュニティ活動の実現」や「国際化の推進」といった自らが進んで関わろうとする能動的項目があがってきていないのが、気になる。他人(政府など)にやってもらうことが中心に「重要」と認識される傾向があるのではないかと。</li> </ul> |
| B 構成員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化問題への対応</li> <li>大気や河川、海洋、土壌等、環境汚染の未然防止</li> <li>青少年指導者の養成と確保</li> <li>若年層の失業問題の解決</li> <li>行政の情報化を担当する職員の専門能力の向上</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ユビキタス社会に適応した法整備(個人情報保護法はその一端だがそのほかにも色々検討すべき点がある)</li> </ul>  |   |
| C 構成員 | <p>次のテーマはITが影響を及ぼせる範囲は副次的なものに留まる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー問題の解決</li> <li>循環型社会・環境共生型社会の構築</li> <li>青少年の健全な育成(IT教育ではなく人格教育の領域)</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>就職機会の拡大と多様化(類似のテーマである「就業形態や勤務形態の多様化」と合わせると重要度は高くなる)</li> <li>多様なコミュニティ活動の実現(ITによって新しいコミュニティを創ることが可能になっている)</li> </ul>                                  |   |
| D 構成員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>インフラ整備や安全性に関するものと、活用の原則として情報共有の促進を行うものは妥当性がある。</li> <li>一方、「医療」「就職」に関しては、法整備や規制緩和が先行する必要がある、ユビキタスネットとしての解決が優先されるものではない。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者や子供の健康や安全確保のために、ネットを通じたりリモート監視などは有用(セコムはすでに事業にしている)</li> <li>環境保全のためのリモート監視のしくみと高齢者の生きがい作りを組み合わせた地域貢献や地域通貨を使ったコミュニティ醸成</li> </ul>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>利用の範囲に関して、都市、コミュニティ、県、全国といったスパンの異なるものが一緒になって議論されている。やはりスパンが違えばそれに適したサービスも異なるので、区別した議論</li> </ul>                         |

|           | A. 生活者の回答は重要テーマ・重要課題だが、<br>ユビキタスネット社会による <u>解決が適切</u><br><u>とは思われないもの</u>   | B. 生活者の回答は重要テーマ・重要課題ではないが、<br>ユビキタスネット社会による <u>解決を考</u><br><u>ておくべきもの</u>   | C. その他              |
|-----------|---|---|---------------------|
|           |   |   | が行えるようにした<br>ほうが良い。 |
| E 構成<br>員 | <p>以下はユビキタス社会の到来如何に関<br/>わらず非IT施策として考えるべき課題で<br/>もあり、それなくして解決は困難。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常の防犯体制の強化</li> <li>・ モラルの向上</li> <li>・ 高齢者の経験を生かせる就業機会<br/>の提供</li> <li>・ 医療過誤対策 等</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「安全・安心な生活環境の実現」と<br/>いう重要テーマにおいて、緊急情報<br/>などの入手や共有化等について、<br/>屋内のみならず「屋外でも自由に情<br/>報入手できるネットワーク整備」が重要<br/>な課題(例えば、現在でも国民の一<br/>日の外出(トリップ数)をみると、平均2<br/>回は外出し、その移動所要時間は<br/>1時間程度(平成11年全国パーソ<br/>ナルトリップ調査)、20年後の社会では高齢<br/>者の大半が免許保有者であり、携<br/>帯を必需品としている国民となると<br/>予想される事からも屋外で携帯・<br/>PDA や車載端末が自由に利活用<br/>できる NW の成立の可否がポイント<br/>になる)</li> </ul> |                     |
| F 構成<br>員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 患者中心の医療サービスについて<br/>ユビキタス技術への期待が比較的<br/>高いが、重要なのは医者、医療機<br/>関の意識で、ユビキタスネット技術<br/>は道具。</li> <li>・ エネルギー問題は、ユビキタス技術<br/>によって解決するものではない。こ<br/>れは、ユビキタスネット社会の前提<br/>条件。</li> <li>・ 食の安心・安全、日常防犯に関し<br/>て、ユビキタスネット技術は道具で<br/>あり、社会全体の意識改革がより重<br/>要。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通・物流に関して、現システムの<br/>効率向上と、新しいシステムの構築<br/>の両面で非常に大きな潜在能力を<br/>秘めている。例えば、公共交通機関<br/>と車等のレンタルシステムと宅配シ<br/>ステムの有機的統合をユビキタス<br/>ネット技術が下支えすれば、マイカ<br/>ーの必要性を大きく減らすことが可<br/>能。</li> <li>・ 文化・芸術分野において、鑑賞、保<br/>存の面では大きな貢献が出来る。</li> </ul>  |                     |
| G 構成<br>員 | <p>ユビキタスネット社会(以降ユビ社会)に<br/>よる解決が適切とは思われないものは<br/>見当たらないが、3分類できる。</p> <p>(a)直接的に解決をもたらすもの; 災害<br/>時における迅速・正確な情報の共有化、<br/>救急医療体制の充実、個人情報(カルテ<br/>記載情報等)の保護、高齢者に優しい住<br/>宅の供給、高齢者の知恵や経験を活か<br/>せる就業機会の提供、ネット社会のリス</p>  | <p>左記(a)として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 便利で快適な住環境の実現</li> <li>・ 消費生活の質的な向上</li> <li>・ 文化資産・歴史的遺産の収集と保<br/>存・活用</li> <li>・ 多種多様なコンテンツが安全に流<br/>通する仕組みづくり</li> <li>・ 異なる医療機関間の連携強化</li> <li>・ 社会人が学びやすくするための学</li> </ul>  |                     |

|       | A. 生活者の回答は重要テーマ・重要課題だが、<br>ユビキタスネット社会による <u>解決が適切</u><br><u>とは思われないもの</u>  | B. 生活者の回答は重要テーマ・重要課題ではないが、<br>ユビキタスネット社会による <u>解決を考</u><br><u>えておくべきもの</u>   | C. その他 |
|-------|--|--|--------|
|       | <p>ク管理ネットワーク犯罪の防止、ネットワーク上の倫理問題</p> <p>(b)ユビ社会により社会的なマネジメントの高度化が実現され間接的に解決を推進する力になるもの; 食の安全・安心確保、日常の防犯体制の強化、省エネルギー・省資源対策の促進、医療行為における医療過誤対策、地球温暖化問題への対応、ごみの減量化・資源リサイクルの推進、大気や河川・海洋・土壌等・環境汚染の未然防止、多様で利用しやすい介護サービスの充実、青少年の福祉を害する犯罪防止やモラルの向上、若年層の失業問題の解決、中高年層の再就職支援、雇用機会の拡大</p> <p>(c)ユビ社会が解決に部分的な助けとなる; 再生可能エネルギー技術の開発と普及促進、リサイクルエネルギー技術の開発と普及促進、青少年指導者の養成と確保、社会的援助を必要とする児童・家庭への福祉の充実、ネット社会の利用者のモラルや意識向上</p> | <p>習環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ デジタル化された著作物等知的財産の適切な管理</li> </ul> <p>(b)として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通渋滞の緩和</li> <li>・ 交通事故の削減</li> <li>・ ベンチャー・中小企業の資金調達環境の改善</li> <li>・ 行政の情報化を担当する職員の専門能力の向上</li> </ul> |        |
| H 構成員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青少年の健全な育成</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様なコミュニティ活動の実現(地域の活性化、福祉・教育・就労等、多様な効果が期待できる。)</li> </ul>  |        |
| I 構成員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「エネルギー問題の解決」に過大な期待。太陽光、風力、地熱等の開発と普及推進は難しい。CO2 排出量の削減も過大な期待である。</li> <li>・ カルテ記載情報などの「個人情報の保護」については、ユビキタスネット社会では逆に保護することが難しくなる。</li> <li>・ 高齢者の就業機会の提供、青少年の犯罪防止やモラルの向上、ネット社会の利用者のモラルや意識の向上、若年層の失業問題の解決、中高年層の再就職支援、雇用機会の拡大・・・などは、技術的向上が大きく貢献だが、解決には別次元の施</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「食の安全・安心確保」のみでなく、「製品の安全・安心確保」(事故の未然・拡大防止、リコール対応など)について解決を考えておくべき</li> <li>・ 電磁波問題も大きな課題</li> </ul>  |        |

|       | A. 生活者の回答は重要テーマ・重要課題だが、<br>ユビキタスネット社会による <u>解決が適切</u><br>とは思われないもの   | B. 生活者の回答は重要テーマ・重要課題ではないが、<br>ユビキタスネット社会による <u>解決を考</u><br><u>えておくべきもの</u>                     | C. その他   |
|-------|--|--|--|
|       | <p>策が必要で。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>同様に、ネットワーク犯罪の防止やネットワーク上の倫理問題についても、ユビキタス社会だからこそ最も優先的に取り組むべき課題だが、新たな犯罪、モラルの低下を生み出しつつ、規制とのイタチゴッコになる。</li> </ul>  |  |  |
| J 構成員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>生活者が重要テーマ・重要課題として回答しているものは、現代社会において「倫理感の欠如」により引き起こされる各種問題に対する解決を、ユビキタスネット社会に求めている。特に、迅速かつ正確な個人への情報公開が問われている。従って、個人への情報公開がしにくいもの、または個人へ情報公開をしても役に立たないものはテーマ・課題として不適切。</li> <li>一方、インターネットがグローバル化であるのに対して、ユビキタスネットはローカル色の濃い生活密着型ツールである点、ユビキタスネット社会の要素技術が IC タグ、RFID 等である点を踏まえると、生活者に対して、より身近なものであり、かつユビキタスネット社会の実現が着実に生活者の利便性に直結するものが適切と。</li> <li>生活者が重要テーマ・重要課題と回答しているもののうち、ユビキタスネット社会による解決が適切とは思われないもの <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ エネルギー問題の解決</li> <li>➢ 循環型社会・環境共生型社会の構築</li> <li>➢ 就職機会の拡大と多様化</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関や介護施設の経営効率と利用サービスの向上</li> <li>物流システムの効率化</li> </ul> |  |
| K 構成員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>ユビキタスネット社会による解決が適切とは思われないものは基本的にない。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>既存項目には基本的にない。</li> </ul>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>その他医療機関や介護施設の経営効率と利用サービス</li> </ul> |

|           | A. 生活者の回答は重要テーマ・重要課題だが、<br>ユビキタスネット社会による <u>解決が適切</u><br>とは思われないもの  | B. 生活者の回答は重要テーマ・重要課題ではないが、<br>ユビキタスネット社会による <u>解決を考</u><br><u>えておくべきもの</u>  | C. その他  |
|-----------|---|---|---|
|           |   |   | の向上について、<br>地域休日診療体制・診療時間外診療体制に関する情報提供の充実が必要。子を持つ親として、休日・時間外における急病等の場合に、どこの病院へ行けば、どの診療科の専門医に診察してもらえるのか、携帯電話端末などから簡単に正確な情報を常に取り得できるようにして欲しい。超高齢化社会を迎えるに際しても重要。 |
| L 構成<br>員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常の防犯体制の強化</li> <li>・ 個人情報の保護</li> <li>・ ネットワーク犯罪の防止</li> <li>・ ネットワーク上の倫理問題</li> </ul> (理由: 情報セキュリティ技術の向上は見込まれるもの、基本的には情報の流通範囲が広がるためにこれらの適切な解決策になるとは思えないため) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「電子政府の実現と行政改革」</li> <li>・ 「生涯学習の普及」</li> <li>・ 「就業形態や勤務形態の多様化」</li> </ul> (理由: 現在のネットワーク世界において、電子流通の更なる普及には電子政府の実現が大きな要素。そのためにはより多くの人が情報にアクセスできる必要があり、ユビキタスネットワークの果たす役割は大きい。また情報の交流の場が増える点や場を選ばない点において、「生涯学習の普及」や「就業形態や勤務」に対する解決策になりうる。) |   |
| M 構成<br>員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 再生可能エネルギー技術の開発と普及促進</li> <li>・ リサイクルエネルギー技術の開発と普及促進・青少年の福祉を害する犯罪防止やモラルの向上</li> <li>・ 青少年指導者の養成と確保</li> <li>・ 社会的援助を必要とする児童・家庭への福祉の充実</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ユビキタスネット社会に期待する課題の抽出」では電子政府の実現と行政改革に関する課題が多数抽出されて、これらの多くはe-Japan戦略で既に推進中の課題であり、2010年ではなく、もっと早期に解決すべきもの。しかしながら、引き続き高度化の取り組みは重要であり、ユビキタスネットによる行政サービス</li> </ul>   |   |

|       | A. 生活者の回答は重要テーマ・重要課題だが、<br>ユビキタスネット社会による <u>解決が適切</u><br>とは思われないもの  | B. 生活者の回答は重要テーマ・重要課題ではないが、<br>ユビキタスネット社会による <u>解決を考</u><br><u>ておくべきもの</u>   | C. その他  |
|-------|---|---|---|
|       |   | <p>の24H化の実現、自宅・企業に居ながらサービスを受けること、高齢者・障害者にも使い易いインターフェースなど、より安心して便利に使える行政サービスへの期待は高い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>以下の課題も重要 <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅健康診断などによる予防医療・早期診断の充実(総医療費抑制)</li> <li>労働移動の円滑化による人材の最適配分の実現(雇用需給のマッチング・就業能力向上支援)</li> </ul> </li> </ul> |   |
| N 構成員 | ・ エネルギー問題の解決  | ・ 新規産業の振興(産業構造の变革)  |   |
| O 構成員 | <p>・ 若干、違和感があるのは、「エネルギー問題の解決」が「安全・安心な生活環境の実現」に次ぐ、第二の重要課題に挙がっていること。細目課題としてあがっているものを見ると、再生可能エネルギーと、リサイクル、省エネルギー。このことから、エネルギー問題としてよりも、4番目にあがっている、「循環型社会・環境共生型社会の構築」のための具体的方策として、生活者によって意識されているのではないか。一般の「エネルギー問題」とは異なっているため、この2番目と4番目は融合させて、「地球環境問題の解決」というより上位の項目に統合したほうが、誤解を生まない。</p> | <p>・ e-Japan 戦略 では、「元気・安心・感動・便利」というIT社会が実現すべき4つの価値を提示。今回のアンケートは、「2010年に向けた日本の重要課題」という切り口で設問が構成されているために、元気・安心・便利という3側面にテーマが集中。文化・芸術・スポーツ以外に、生活者の生活をより豊かにする芸能やアニメ、ゲームといった「感動」にかかわるものが手薄。ユビキタスネットワークが実現させる具体的なソリューションを検討するときには、この「感動」という側面も取り上げていくべき。</p>                                    | <p>・ 本アンケートは、重要課題をテーマにしているために、「ユビキタスネットワークが実現するソリューション」も、「ビッグイシュー」への対応が中心になる可能性。しかしながら、ユビキタスネットワークが実現するソリューションは、「ビッグイシュー」への対応だけでなく、「スモールマター」へのニーズという形で実現するものも多々ある。ソリューションへの展開においては、「スモールマター」への配慮をしていただきたい。たとえば、「多様な</p> |

|       | A. 生活者の回答は重要テーマ・重要課題だが、<br>ユビキタスネット社会による <u>解決が適切</u><br>とは思われないもの   | B. 生活者の回答は重要テーマ・重要課題ではないが、<br>ユビキタスネット社会による <u>解決を考</u><br><u>えておくべきもの</u>   | C. その他  |
|-------|--|--|---|
|       |  |  | コミュニティ活動の実現」というと、地域社会での活動や、NPOとしての活動のようなものがイメージされやすいが、もうすこし、生活に密着した、PTA活動への支援とか、いわゆる女性同士の井戸端会議の支援、といったものも考慮する必要があるのではないか。 |
| P 構成員 | ・ 特になし   | ・ 特になし   |   |
| Q 構成員 | ・ いずれのテーマもユビキタスネット社会による解決が適切、もしくは強い関係がある。消費者、利用者サイドの要求や施策への反応が幅広く、直接把握できる環境が実現できると想定されるから。いずれのテーマも課題や知恵の社会的な共有性が強く求められる。 | ・ 「生涯学習の普及」は、ユビキタスの環境が十分、活かされるテーマ。イーラーニングの仕組みやボランティアの参加、育成や金銭的な支援制度を作る上で有効な役割を果たす。<br>・ 「国際化の推進」についても、交換留学制度の普及などにインターネットが大きな役割を果たしていることなどを考慮すると、ユビキタスネット社会の重要テーマ。 |   |

## アンケート項目の課題以外に 2010 年に向けて日本がユビキタスネット社会によって解決すべきと思われるもの

|      |  |
|------|--|
| ア構成員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>投票率の低さにも表れているように、コミュニティ、教育、地方行政、国政、などに自ら積極的に関わっていく意識が薄いのが今の日本社会の問題点。要因のひとつには、規制や物理的障害が多く、参加しにくい構造がある。しかし、一方で、生活者自身に、「何かをやってもらう」という受け身の姿勢が染みついてしまっているのも、社会が活性化しない要因。ユビキタスネット社会においては、皆が「つながっている」だけに、一人一人が役割を果たすことが重要になる。自らが行動しなければ社会はよくなる、或いは、きちんと新しい知識とスキルを身につける努力をしなければならぬ、といった意識を確立することも大きな課題のひとつ。また、そういった意識改革を進めていかなければ、具体的にあげられているユビキタスネット社会の目指すサービスも実現できない。</li> </ul>  |
| イ構成員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>医療分野では、今後精神的な疾患が増加する。こうした疾患に対する治療やケアにはユビキタス社会によってもたらされる恩恵を享受できる可能性。米国では、家庭内での患者の動き（行動）を各種センサによって詳細に把握し、精神疾患の状況を把握して治療に役立てるといった試みが既に行われている。</li> <li>エンターテインメントもユビキタス化による新たな市場形成を期待できる分野。RFIDやユビキタス環境に対応した様々なデバイスを活用したゲームなどが流行ることが予想。</li> </ul>   |
| ウ構成員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>東大の月尾教授が「血縁社会 地縁社会 職縁社会 好縁社会」と社会像は進化してきた、と述べている。好きなものが空間的・時間的制約を超えて集まり、意見を交わしふれあう社会が第四世代の社会であるという主張と理解。ユビキタスネットワーク社会と好縁社会は非常に近い存在。知りたいことを知り、オピニオンを世に問うことがより簡単にできるようになる。いろいろなオピニオン（論文や詩、写真や絵画のような芸術、歴史観や思想等）が飛び交い、共感や反論をよんで個人の世界がひろがっていくのがユビキタスネットワーク社会と考える。</li> <li>ここに挙げられたテーマでおおむね「解決すべきテーマ」は尽きていると思うが、「メディアの高度化と多様化」を追加したい。多チャンネル化やCATVの普及、地上デジタル放送実施などインフラ部分は整ってきているが、その上にどのようなメディアが載ってくるのか、が課題。米国では議会の様子だけを放送するチャンネルもあるように、日本の視聴率基準で考えれば測定できない規模のメディアも存在。メディアの健全度は歴史的に見ても国の健全度に近いため国民生活には重要なテーマであり、ITが効果を及ぼす余地も大きいものである。</li> </ul> |
| エ構成員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットとネットにつながったモノとサービスの増加によって、「サービス to サービス」「モノ to モノ」の情報の流れが飛躍的に増大することになるが、この部分は人間の目に触れないもの。処理の正当性と安全の確保のためにも、この部分を「人間の目で見える(可視化)」の仕組みを用意しておくことが必要。</li> <li>上記に関連して、ネットワークに接続して情報やサービスの入出力を行う「ポータル」に相当するもの、そして適切なヒューマン・インターフェイスが進化していく必要。それは新しい時代のライフスタイルなりワークスタイルで目指すものを具現化することにつながる。</li> </ul>   |
| オ構成員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>ユビキタスネットワーク社会の目標は、すべての人が豊かで安全、快適な生活をおくることができる社会を実現することであり、自動車産業の立場では、世界中のすべての人々が自由な移動を確保できるよう、「モビリティディバイド」を解消し、「持続可能・安全な交通システムを形成し豊かなモビリティ社会を実現」する事が重要な課題。</li> <li>一方で、移動・交通自体が交通事故や渋滞、環境負荷という負の課題を抱えており、都市、地域、社会経済の発展と個人の時間的、空間的自由の拡大には、こうした安全・環境面の課題を解決する事が重要である。自動車メーカーとして、安全・環境等の課題の解決に向け、自律システムの開発を進めているが、クルマ側のシステムだけでは事故や渋滞、環境負荷の解消の実現には限度があり、「クルマとインフラの協調したシステムの実現」が課題の解決に大きな効果があると期待できる。特に、交通事故ゼロを目指すには、クルマと歩行者のコミュニケーションが必要であり、ユビキタス社会の実現は大きな助けと</li> </ul>   |

|      |   |
|------|---|
|      | なる。   |
| カ構成員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光産業の拡大</li> <li>・ セキュリティ(情報及び映像両方)</li> </ul>   |
| キ構成員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療分野の課題として、<br/>(a),(b)医療機関や介護施設のサービス内容やレベルの明確化による医療リソース最適配分専門家、多様化が進む医療、介護サービスの質的、量的な資源管理をユビネットで行い、社会全体のサービス享受の最適化を図る</li> <li>・ 国土安全保障問題への対応として、<br/>(a)社会的なボトルネック・脆弱性、災害や被害の波及防止(ユビ社会により、ボトルネックを分散し、脆弱性を低下させる。災害発生時の被害を広げない。かつてインターネットが発明されたモチベーションにも倣う)<br/>(b)災害からの復旧の迅速性向上(ひとたび災害が起きたときの修復をユビネットによる情報収集、リソース投下最適化などにより、効率的に行なう)<br/>(c)被災者、避難者の救済(ユビネットにより、公的な救済、企業や個人などのボランティア、NGO、国際的な救助チームなどの協調連携、リソース配置の最適化などを想定)<br/>(d)金融的、経済的な危機回避、対応(ユビネット、ユビ社会による情報収集、管理、風聞の解消、投機的な動きの制御などを期待)を挙げたいと思います。(a),(b),(c)は、Q1の回答に従う)</li> </ul>  |
| ク構成員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2010年は、わずか6年後。技術的進歩は可能とはいえ、それに伴う「安心・安全」の制度的保証も整備される必要。IT社会の進展では、常に消費者被害に対する消費者保護策が後追いで実施されてきた経緯がある。深刻な問題も発生している。ユビキタスネット社会がIT社会の延長上にあるのかわからないのか、便利さだけが強調されることへの不安がある。</li> <li>・ 何よりも解決すべき課題は、個人情報の保護をどう図るのかという点。いつでも誰でも他人の情報に接することができるような社会は困るし、知らないうちに自分の情報がどこかに集積され、監視されているという社会でも困る。</li> </ul>  |
| ケ構成員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Q1で記載のとおり、現代社会における「倫理感の欠如」を一掃し、成熟社会における日本ならではの豊かな国づくりが必要。豊かな国づくりの原動力は、青少年の健全な育成と考えるが、現状の重要テーマ「青少年の健全な育成」にある課題は育成者側の課題というよりは、管理者側の立場にたった課題。青少年の健全な育成は、自立的な成長を促進することであると考えため、より育成者側の立場にたった課題解決が必要である。健全な青少年の育成には、文化・芸術・自然体験に触れることが重要と考えるため、現状の重要テーマ「青少年の健全な育成」にある課題の他に、「文化・芸術・自然体験を通じた青少年の育成のための環境づくり」を加えたい。</li> <li>・ ユビキタスネット社会の利活用のイメージ例としては、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化 : 地域を訪れると、周辺の地域情報・建造物の歴史から風習等まで知ることができる。</li> <li>・ 芸術 : 美術館に行き、美術品の前に立つと、美術品の情報・作者の他の作品等を画像・音声で詳細に学ぶことができる。</li> <li>・ 自然体験: 季節と共に移り変わる風景や、田植えから刈り取りまでの農村の定点観測画像・音声、釣り場の風景等、いつでも、どこからでも見る・聞くことができる。等々</li> </ul> この分野へユビキタスネット社会の利便性を活用することで豊かな国づくりを担う青少年の育成に寄与できる。 </li> </ul> |
| コ構成員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先に述べた「地域休日診療体制・診療時間外診療体制に関する情報提供の充実」にも示されているとおり、わが国では、産業界その他、すべての領域における需要と供給とのミスマッチングが続いている。ユビキタスネットワークの利活用による充実した情報提供体制の構築によって、さまざまな領域で、こうしたミスマッチングを解消する大きな力となりうる。例えば ISO9000 の取得を目指している企業が、ISO9000 の取得を担当した人材を探そうとする場合、これをマッチングさせる手だてが現状では弱い。ユビキタス</li> </ul>  |

|      |   |
|------|---|
|      | <p>ネットワークの利活用により、円滑にマッチングができれば、中高年の雇用問題解消にも資するし、それによって能力優先型の競争社会実現による日本の競争力強化にもつながる。</p>  |
| サ構成員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ユビキタスネットワーク実現によるさまざまな利便性の向上を期待。ただし前提として、ネットワーク上に流通する個人情報や知的財産のセキュリティを確保することが重要。なかでも放送事業者が制作するコンテンツは、単に「情報」の域を超え、様々な権利が付随する知的創造物であり、流通にあたってそれらを保護できるネットワーク・セキュリティ技術の確立が必要。</li> </ul>   |
| シ構成員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人、小規模事業者の能力拡大</li> <li>・ コンテンツ・サービス産業の増大</li> </ul>   |
| ス構成員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ほとんどの問題はカバーされているが、「少子高齢化問題」については、どちらかという「高齢化」問題に焦点が当たりすぎており、もうすこし「少子化問題」の側面を強める必要。</li> <li>・ たとえば、「核家族で子育てする主婦の情報不足を支援する、経験豊かな女性(地域のおばあさん達)のビデオコミュニティ」「保育園の保母不足をおぎなう園児見守りの映像・電子タグシステム」「晩婚化を防ぐ、完全に実名で信頼の置ける、健全な出会い系サイト」等、ユビキタスネットワークが貢献できるシーンは多い。</li> </ul> |